

第4回犬山市総合計画審議会の感想意見等について

(1) 資料2「第3回犬山市総合計画審議会での意見整理 補足資料」について

1) 健康、医療について

- ②「生活を支える施設が身近にあり、自動車がなくても暮らせるまち」「居心地が良く歩きたくなるまち」を目指すべきについて

「今後目指すべきまち」のアンケートにありますように、また他の視点からのアンケートもありましたが、道路（県道、市道）が狭隘、歩車道分離がされていないとの意見に対応した施策が必要であると思います。

③④医療体制の充実について

総合犬山中央病院建替え時に一定の補助、助成を考える必要があります。また、国保で行われています特定健康診査が市内医療機関で行われていますが、もう少し内容を充実した健康診査いわゆる「人間ドック」の助成を行う必要があると思います。市外の医療機関となる小牧市民病院、江南厚生病院で実施する場合の助成も必要と思います。

3) 農業について

①②地産地消について

意見ではなく、行政とJA愛知北の対応状況になりますが、地産地消については犬山市、JA愛知北共に推奨しており、朝市・青空市（ザ・朝市オブ犬山（木曾川河畔など）、インショップ（三河屋、イオンなど）で地元の野菜、果物、お茶などの地元産品を販売している。

また、犬山市の学校給食でも地元野菜（ニンジン、キャベツ、玉ねぎなど）や6次化商品（うどん、冷や麦、桃ジャム、みかんジャム）が使用されている。

今後も地産地消のPRに努め地元野菜、6次化商品の充実に努めていきます。

③④「農業継続」「耕作放棄地の活用」について

こちらも意見ではなく、行政とJA愛知北の対応状況になりますが、「農業継続」「耕作放棄地の活用」については、人・農地プランの実質化に向け、

また犬山市農業経営地域戦略アクションプランに基づき農業者確保や耕作放棄地の解消に向け行政と共に努めていきます。

6) 公共交通について

①～⑤について、犬山市内には7駅の鉄道駅があり、鉄道交通のインフラは充実されていると思われる。しかしながら、アンケートでは改善や充実を求める意見が数多く出されている。このことは、駅周辺の施設整備(自転車駐車場、自動車送迎用ロータリー広場の設置など)が不十分であることやコミュニティバスの最寄り駅への接続がされていないことなどが影響していると考えます。

(2) 資料4から資料7の調査結果、報告書等について

企業ヒヤリングまとめ調査結果(総括)の中に、「犬山市内には住宅物件が少ない」「生活便利施設の立地を求める指摘」がありますが、このことは、市民意識調査や中学生アンケートにおいても「商業施設の整備」「市内に買い物するところがない」などの結果と同じ指摘である。

これらの整備、拡充が求められます。

巷間、犬山市は開発行為の規制が厳しすぎるとよく聞きますが、豊かな自然や緑を残しつつ、都市計画、土地利用計画に踏み込んだ緩和が求められます。

(3) 資料以外の意見等について

「持続可能なまちづくり」が大切である。

以上、送付します。

令和3年11月16日

奥村 哲司